経営分析		教授 安藤 鋭也	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目 教職科目	科目ナンバリング	23020207 25320214

1. 授業のねらい・概要

経営分析とは、企業が作成・公表する会計情報を通して、企業の経営状況を明らかにする技法です。経営分析は、外部利害関係者（株主、投資家、債権者、取引先）が自分たちの意思決定に活用したり、内部利害関係者（経営者、役職員）が企業の経営方針を決定するために利用します。

例えば経営分析の指標の1つである健全性を調べるためには、貸借対照表の分析が必要となります。本講義では、主題である経営分析の前提として、最初に会計知識のおさらいをします。次に経営分析の主な指標を丁寧に解説します。最後に実際の企業を評価します。これらを通して、外部利害関係者・内部利害関係者それぞれの立場から、経営分析を理解できるようになることがねらいです。

2. 授業の進め方

授業はテキストに沿って進めます。経営分析の指標の解説では別途資料を準備します。授業を通して、適切な理解に加えて実際に計算ができるようになることを目標とします。

3. 授業計画

1. ガイダンスー経営分析とはー 2. 会計の仕組みと規制 3. 財務諸表の作成原理 4. 貸借対照表 5. 損益計算書 6. キャッシュフロー計算書 7. 財務諸表から得られる会計情報と経営分析 8. ここまでのまとめ及び中間試験	9. 経営分析の指標(1)健全性：流動比率他 10. 経営分析の指標(2)収益性：自己資本純利益率他 11. 経営分析の指標(3)成長性：純利益増加率他 12. 経営分析の指標(4)効率性：総資産回転率他 13. 経営分析の指標(5)生産性：資本生産性他 14. 企業の評価ー経営分析の事例ー 15. 全体のまとめ及び期末試験
---	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の講義を受講するまでに、前回の内容をテキストや資料で復習して下さい。準備学修は出来るだけきめ細かく丁寧に30分程度の時間は必要です。準備学修の結果、疑問点が出てきたら遠慮なく次回質問して下さい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

中間試験と期末試験は試験実施の際、解答のポイントや出題意図を（試験）終了直後に解説します。

6. 授業における学修の到達目標

経営分析の基礎をしっかりと理解した上で、自分で必要な計算をできるようになることが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（30%）、中間試験（30%）、期末試験（40%）の割合で総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

永野則雄著『ケースブック会計学入門[第4版]』サイエンス社、2014年、定価：2,000円＋税。経営分析の指標の解説では別途資料を準備します。

9. 受講上の留意事項

実際に企業が公表している会計情報を通して経営分析を行います。皆さんにとって貴重な体験になると思います。

積極的な参加を心から歓迎します。経営分析を学ぶことで、企業に対する新しい見方を手に入れましょう！